

茨木市と事業対象区域の周辺状況

次なる茨木へ。
茨木には、次がある。



茨木市

大阪府の淀川以北にあって、面積約76.5km²、人口約28.6万人で近年、増加傾向にある。
JR2駅、阪急3駅、モルレル2駅、新・名神ICを有し、北半分が緑豊かな山間部でR7.3にダムパークいばきたがOPEN!
5大学11高校(府下4番目に多)を有し、学生が多数在籍。



中央公園 (R2一部整備)

対象エリアを含む近隣公園(約2ha)
3,500m²と4,000m²の2面のナイター設備完備のグラウンドを有し、茨木フェスティバル等のイベントも実施。地下は300台の駐車場。

元茨木川緑地(R5一部整備)

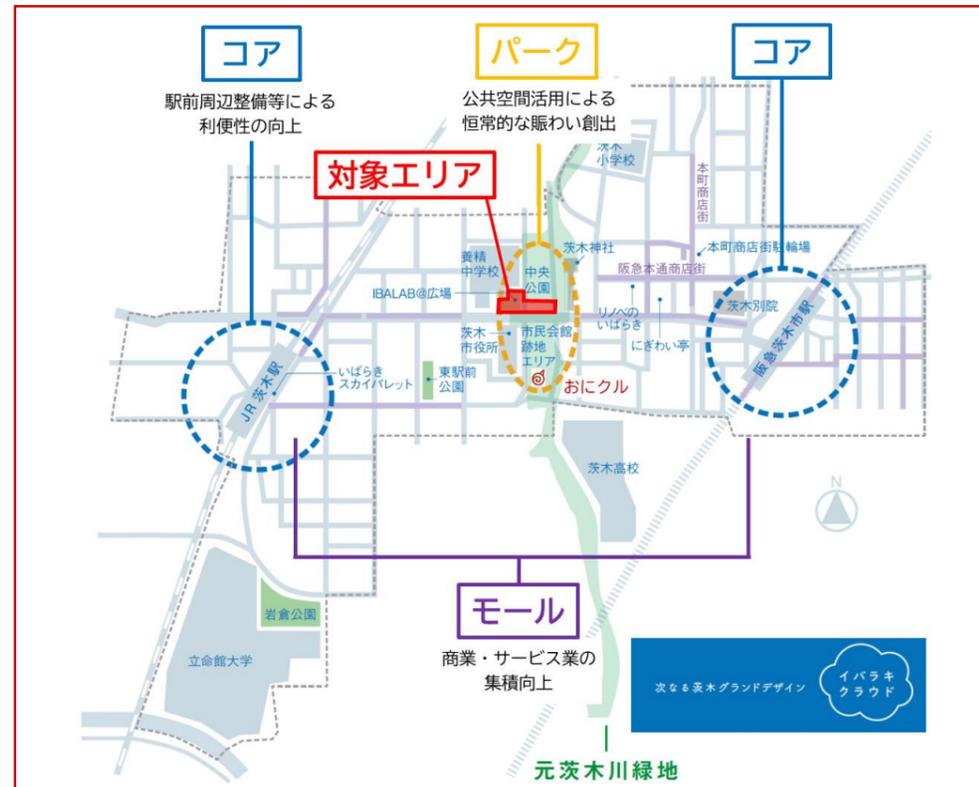
市の中心部を南北に横断する約5kmの緑地。市民さくらまつり等も実施される市民の憩いの場。

おにクルからの眺望



2コア1パーク&モール

まちなかを「2コア1パーク」の都市構造で捉え、“ひと中心”まちづくりを推進しています。それぞれの場で起きる事象を、“点”で終わらせることなく、“線”でつなぎ、まちなか全体に“面”へと波及させることで、相乗効果のあるまちづくりを進めていこうとしています。



参考資料

各駅前開発検討および2つのメインストリートデザイン



市役所前線事業

市内大学と連携事業



茨木市民会館跡地と第二期基本計画

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。



おにクル (第一期 R5.11 OPEN)

設計施工：竹中工務店・伊東豊雄建築設計事務所共同企業体
(総工費約166億円)

コンセプト：『日々何かが起こり、誰かと出会う』

『立体的な公園』[アーティストとのコラボ]

施設：ホール,図書館,こども支援・市民活動施設,プラネタリウム等

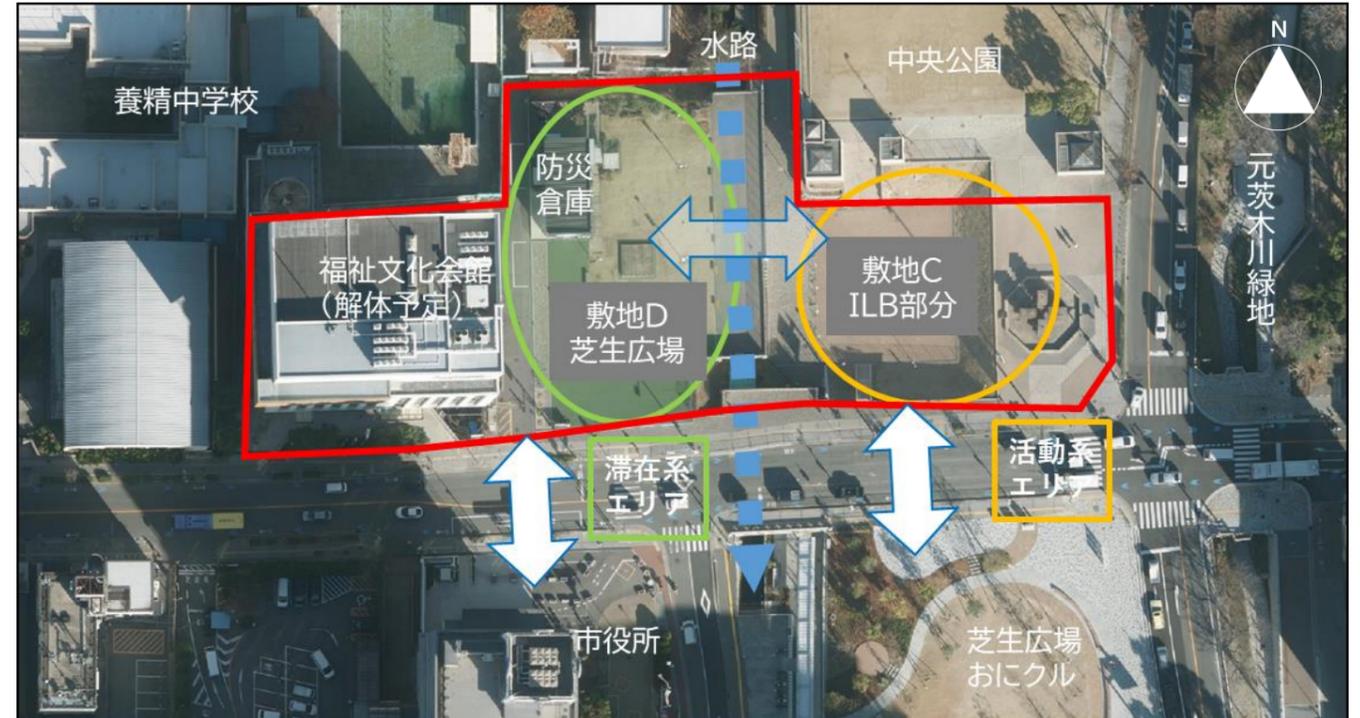


旧市民会館(S44)



茨木市市民会館跡地エリア第二期整備基本計画(R4.9策定)

市民会館跡地エリア全体の価値向上を図りながら、2コア1パーク&モールにおける本エリアの役割を踏まえ、「第二期整備」として元市民会館や福祉文化会館(解体予定)の敷地について、整備方針やゾーニング、導入機能、事業手法等について検討を行い、その方向性を示した。



IBALAB@広場 (現在の利用状況)

“みんなで”つくる・“チャレンジし続ける”

“いつもなにかやっている”・“一緒に考え、変え続ける”



《コンセプト》

- いろいろな過ごし方・使い方の許容(共存)
- 移動や活動の中継し、まちなかの回遊を生み出す仕掛けやデザイン性
- アクティビティの拡張を受け入れられる可変性をもつ空間
- 単一ではなく、複合利用の整備

シェア と リンク
share to link

様々な人・過ごし方が、緩やかに空間・時間を共有=“share(シェア)”できる場所であり、人やアクティビティをつなげていく=“link(リンク)”のようなエリアとなることを目指します

《基本方針》



大きなシェア(分担)

敷地の緩やかなエリア分け・空間のつながり



小さなシェア(共有)

空間の共有・自由な動線

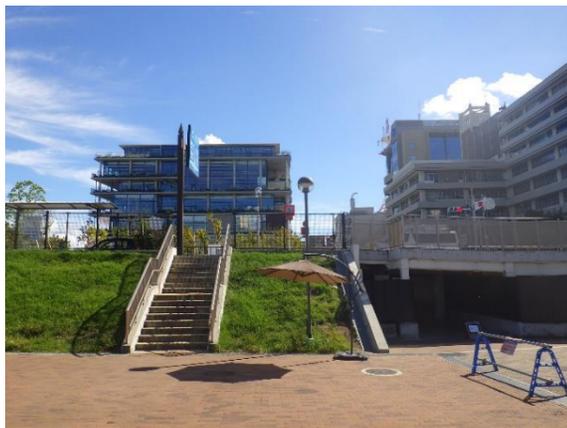


リンク(つなぐ)

周辺施設との連携を図り、拡張空間

対象エリア及び周辺写真

次なる
茨木へ。
茨木には、次がある。



【参考資料】

周辺図

 次なる茨木へ。
茨木には、次がある。

